



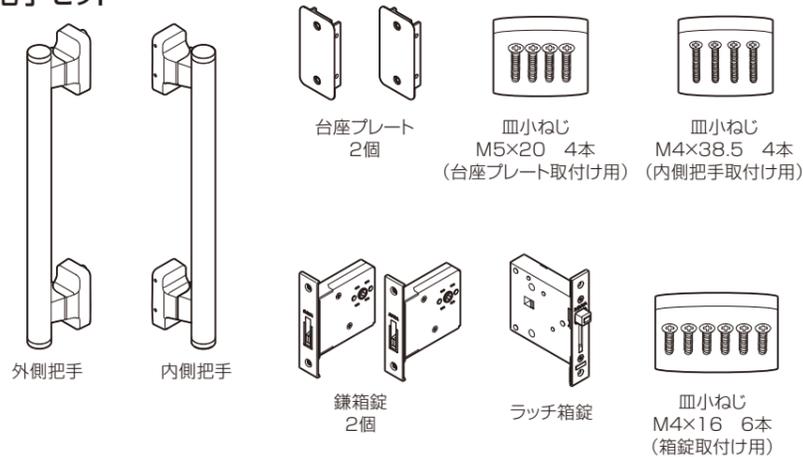
●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

※商品により、シリンダー形状、オーナーキーの有無は異なる場合があります。

■梱包明細

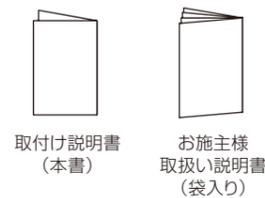
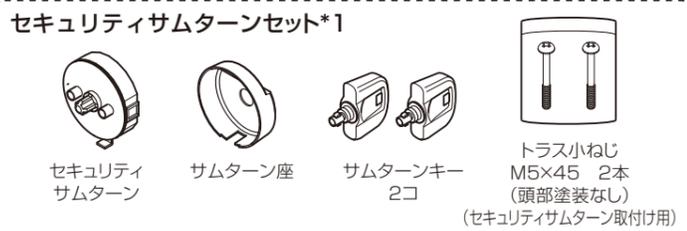
※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

■把手セット



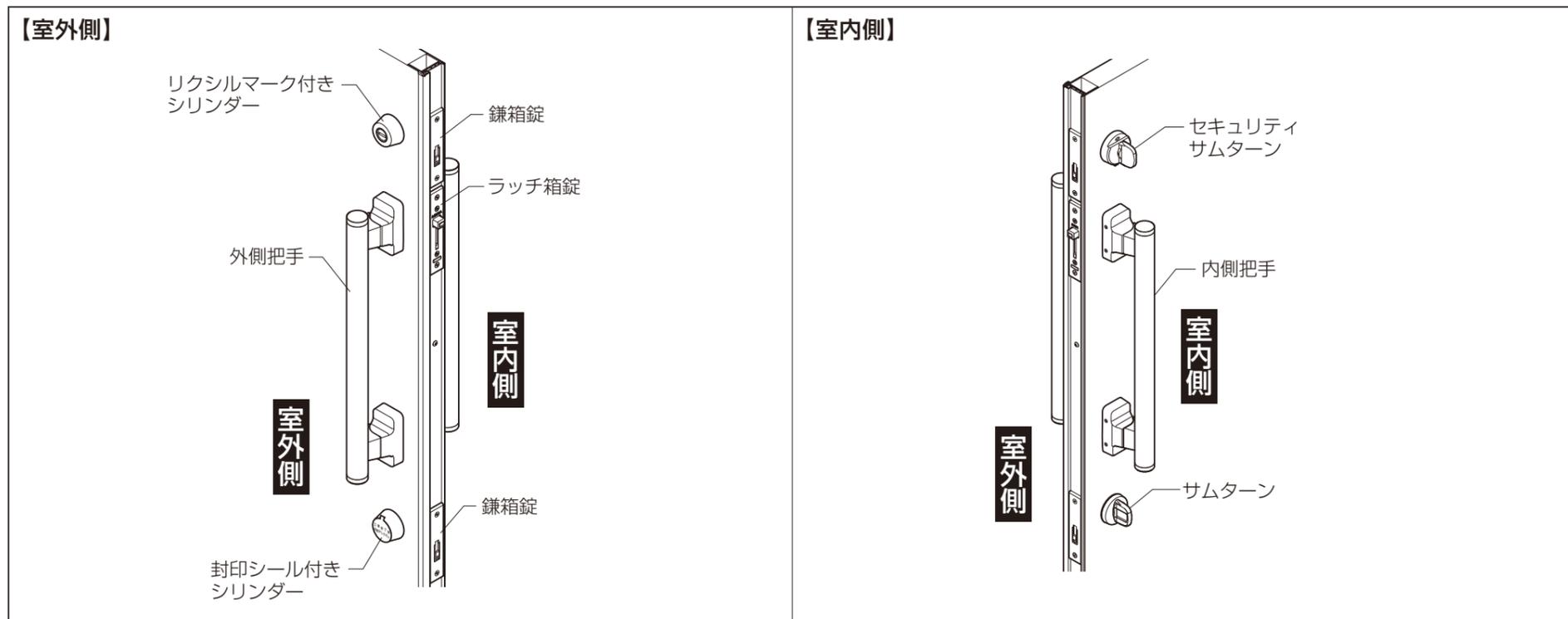
■別途手配品

・シリンダーセット



*1 防火戸シリーズの場合、セキュリティサムターンセットが2セットになります。

■取付け完成図

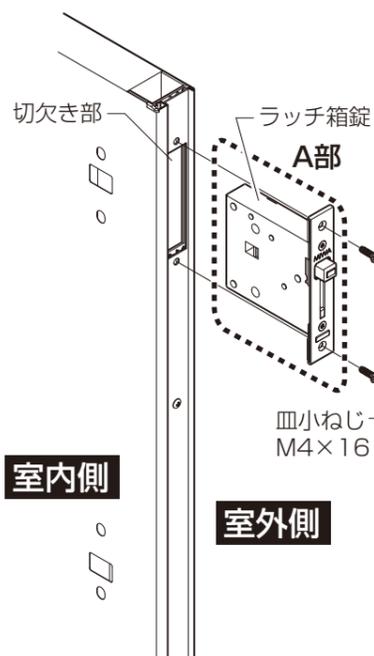


■取付け順序

1 ラッチ箱錠の取付け

●皿小ねじでラッチ箱錠を取付けます。

※ラッチ箱錠の取付け向きは、「箱錠の取付け向き」参照



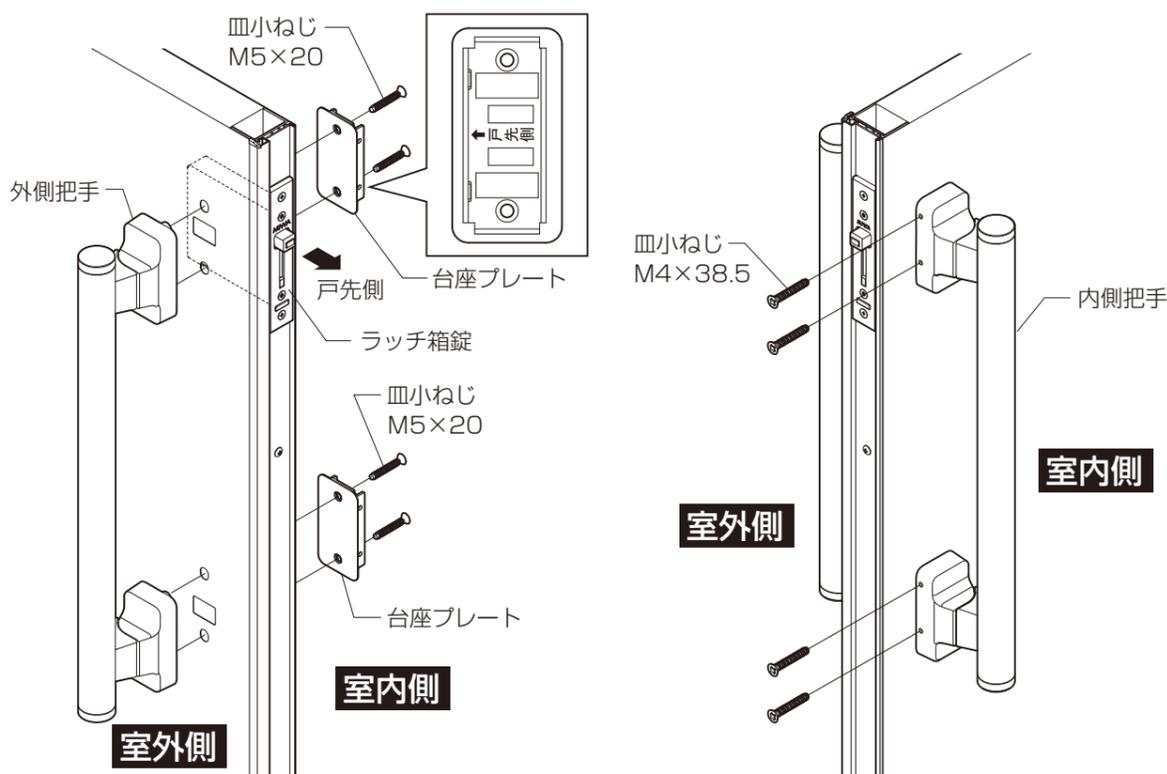
2 把手の取付け

①外側把手を室外側からドアの切欠きに合わせて差込みます。

②台座プレートと外側把手を皿小ねじで固定します。

※台座プレートの「←LIXIL」マークを本体の戸先側にむけて取付けてください。

③内側把手を皿小ねじで台座プレートに固定します。



3 箱錠の取付け

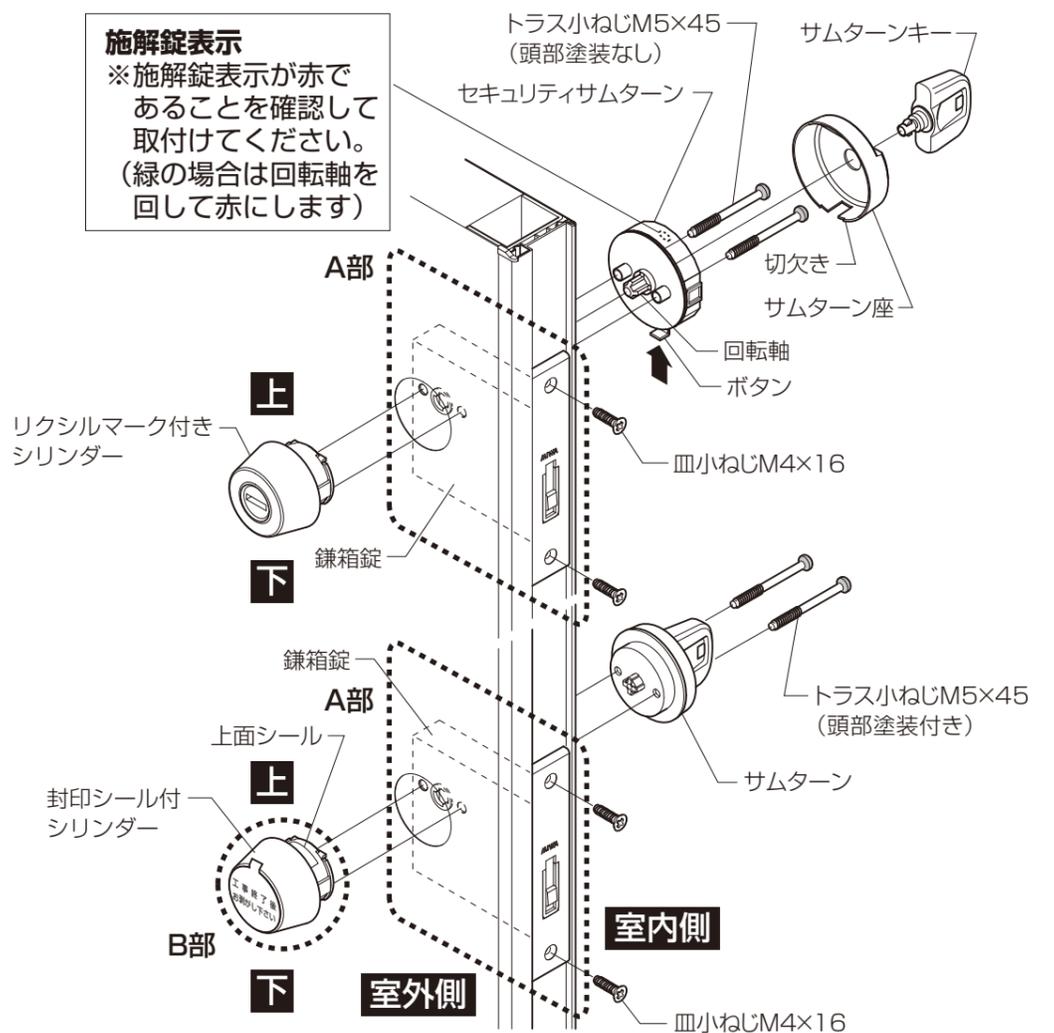
- ① ドア上下部の切欠き部に、鎌箱錠を皿小ねじで取付けます。
 ※鎌箱錠の取付け向きは、下図「箱錠の取付け向き」参照

4 上部シリンダー、サムターンの取付け

- ① リクシルマーク付きシリンダーのリクシルマークを上に向け
 ます。
 ② リクシルマーク付きシリンダーの出っ張り(4カ所)を、鎌
 箱錠(上部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
 ③ セキュリティサムターンのボタンを下に向け、トラス小
 ねじでリクシルマーク付きシリンダーに取付けます。
 ④ サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボ
 タンの向きに合わせてはめ込みます。
 ⑤ ボタンを上を押上げながら、サムターンキーを差込み
 ます。
 (ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)
 ※防火戸シリーズの場合、上下共にセキュリティサムター
 ンを取付けてください。

5 下部シリンダー、サムターンの取付け

- ① 封印シール付きシリンダーの上面シールを上に向け
 ます。
 ※上面シールがない場合は、シリンダーカバーの切欠きを下
 に向けてください。(下図「シリンダーの取付け向き」参照)
 ② 封印シール付きシリンダーの出っ張り(4カ所)を鎌箱錠
 (下部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
 ③ サムターンをトラス小ねじで封印シール付きシリンダー
 に取付けます。



■箱錠の取付け向き(A部詳細図)
 ※MIWAマークの向きで上下を確認して取付けて
 ください。

■シリンダーの取付け向き(B部詳細図)
 ※上面シールが張られて
 いない場合は、シリ
 ンダーカバーの切欠きを
 下に向けて取付けてく
 ださい。

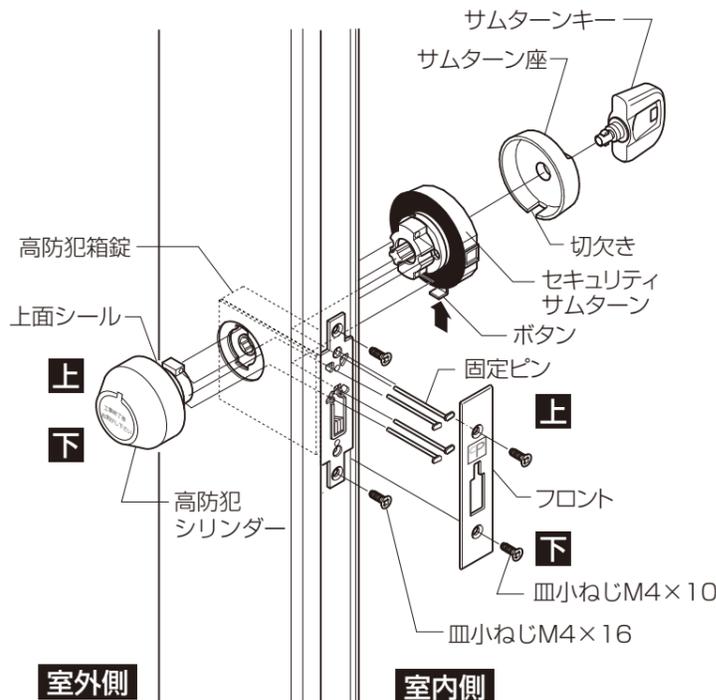
■サムターンツマミの操作
 ※サムターンツマミは縦にして取付けてください。

※セキュリティサムターンは施錠表示が、
 解錠時「赤」、施錠時「緑」になります。

【高防犯箱錠の場合】

■高防犯箱錠は、ドア上部下部の切欠き部に取付けます。

- ① 高防犯箱錠を皿小ねじで取付けます。
 ② 高防犯シリンダーの上面シールを上に向け
 ます。
 ③ 高防犯シリンダーの出っ張り(2カ所)を高防犯箱錠の角穴
 に合わせて差込み、固定ピン(2本)で固定します。
 ④ セキュリティサムターンを高防犯箱錠の角穴に合
 わせて差込み、固定ピン(2本)で固定します。
 ⑤ サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボ
 タンの向きに合わせてはめ込みます。
 ⑥ ボタンを上を押しながら、サムターンキーを差
 込みます。
 (ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)
 ⑦ 高防犯箱錠に皿小ねじでフロントを取
 付けます。
 ※固定ピンは頭がケース上面と同じになるまで差込んで
 ください。
 ※固定ピンをスムーズに挿入できない場合は、ハンマー等
 で軽くたたき込んでください。その際、サッシ等を傷つ
 けないように注意してください。



**■高防犯シリンダー
 側面図**

**■セキュリティサムターン
 側面図**

■コンストラクション装置について

- 封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
 ● 封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。

